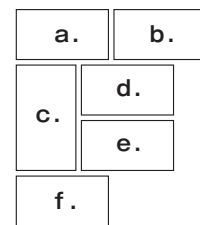


おあしす



ブラジルから

a. ビタヤ（ドラゴンフルーツ）の単作圃場（トメアス移住地：パラ州）。b. 1～2年で収穫が可能な果樹（パッションフルーツ、バナナ、カカオ）を混作して遷移型アグロフォレストリーを実施している日系農家圃場の風景（トメアス移住地）。c. 数年で収穫が始まる果樹（コショウ、カカオ、アサイー）を混作して遷移型アグロフォレストリーを実施している日系農家圃場の風景（トメアス移住地）。d. トメアス総合農業協同組合（CAMTA）のジュース工場。CAMTAは130名の日系の組合員を抱え、生産物の加工だけでなく栽培指導なども手掛ける。e. 日系農家の胡蝶蘭の大規模生産施設（サンパウロ近郊）。f. 日系農家のトマト生産施設（サンパウロ近郊）。

(写真提供：篠原 卓)

日本沙漠学会 2016 年 第 27 回学術大会プログラム

場所：鳥取大学乾燥地研究センター 多目的室

〒 680-0001 鳥取市浜坂 1390 <http://www.alrc.tottori-u.ac.jp/japanese/guide>

プログラム概況

5月28日(土)		5月29日(日)	
08:20～09:00	受付	09:00～10:00	研究発表会・セッション3
09:00～09:15	開会式	10:00～10:10	休憩
09:15～10:15	研究発表会・セッション1	10:10～11:10	研究発表会・セッション4
10:15～10:30	休憩	11:10～11:15	休憩
10:30～11:30	研究発表会・セッション2	11:15～11:45	学会賞記念講演
11:30～12:30	昼休み	11:45～11:50	閉会式
12:30～13:30	ポスター発表コアタイム	11:50～12:50	昼休み
13:30～14:30	総会	12:50～17:30	エクスカージョン
14:40～18:00	公開シンポジウム		
18:30～20:00	懇親会		

口頭発表：2016年5月28日(土) 午前

NO	時刻	題 目 (○は発表者)
001	09:15～09:30	1963年以降の水稲冷害の特徴と2016年の冷害予測 ○真木太一 九州大学名誉教授・北海道大学大学院農学研究院
002	09:30～09:45	2013年3月の三宅島・御蔵島での液体炭酸人工降雨実験のシミュレーション ○真木太一 ¹ , J.V. Ratnam ² , 守田 治 ³ , 鈴木義則 ⁴ , 脇水健次 ⁵ , 西山浩司 ⁶ ¹ 九州大学名誉教授・北海道大学大学院農学研究院, ² 海洋研究開発機構, ³ 福岡大学環境未来オフィス, ⁴ 九州大学名誉教授, ⁵ 九州大学農学研究院, ⁶ 九州大学工学研究院
003	09:45～10:00	日本における局地環境による黄砂等大気粒子状物質に及ぼす影響の観測 ○杜明遠, 梁乃申, 脇水健次, 真木太一 農研機構農業環境変動研究センター, 国立環境研究所, 九州大学, 北海道大学
004	10:00～10:15	小型 UAV を用いた砂丘地表面の航空写真測量と地下水探査 ○齊藤忠臣 ¹ , 西本貴之 ² , 河合隆行 ³ , 福間幸司 ¹ , 猪迫耕二 ¹ , 安田 裕 ⁴ ¹ 鳥取大学農学部, ² 鳥取大学大学院農学研究科, ³ 新潟大学災害・復興科学研究所, ⁴ 鳥取大学乾燥地研究センター

口頭発表：2016年5月28日(土) 午前

NO	時刻	題 目 (○は発表者)
005	10:30～10:45	データ不足条件下における3D地下水モデルの開発：アフリカの角ジブチ共和国 Ambouli 水域 ○Fadouma A. MALOW, 島田沢彦, 関山絢子, 豊田裕道, 森 康二 東京農業大学大学院農業工学専攻
006	10:45～11:00	モンゴルステップにおける長期的な植物種組成変化の把握 ○鈴木康平 ¹ , Tsagaanbandi Tsendeeekhuu ² , Radnaakhand Tungalag ² , 上條隆志 ³ , 篠田雅人 ¹ ¹ 名古屋大学大学院環境学研究科, ² モンゴル国立大学, ³ 筑波大学生命環境系
007	11:00～11:15	旱生ヤナギによる砂質土壌荒廃地の有効利用に関する研究(第2報) ○石川祐一, 佐藤 萌, 矢吹幸子, 杉本英夫, 早川 敦, 日高 伸 秋田県立大学大学院生物資源科学研究科
008	11:15～11:30	乾季と雨季におけるヒトコブラクダ(Camelus dromedarius)の行動パターンと餌資源の利用について ○星野仏方 ¹ , 森岡沙羅 ¹ , 長谷川菜美 ¹ , 今村 薫 ² , 石井智美 ¹ , Ruslan Salmurzauli ³ , Sabyr Nurtazin ³ ¹ 酪農学園大学, ² 名古屋学院大学, ³ al-Farabi Kazakh National University

ポスターセッション：2016年5月28日（土） 終日～5月29日（日）午前

ポスターセッション・コアタイム：12:30～13:30

総会及び学会賞授与式：2016年5月28日（土）午後

総会及び学会賞授与式：13:30～14:30

公開シンポジウム「砂漠化の歴史を編む」：2016年5月28日（土）午後

公開講演会	題 目
挨拶：14:40～14:50	総合司会挨拶 山中典和（鳥取大学乾燥地研センター・センター長）
講演：14:50～16:50	砂漠化の歴史を編む（1人20分） 趣旨説明 篠田雅人（名古屋大学大学院環境学研究科） 地中海東岸レヴァント地方の過去20万年間の水文変動を探る －ICDP死海深層掘削プロジェクト（ICDP-DSDDP） 北川浩之（名古屋大学宇宙地球環境研究所） 文明の礎たる作物と家畜から見た人と自然のせめぎあい 辻本 壽（鳥取大学乾燥地研究センター） 古代西アジアにおける農業の変遷：初期農耕集落期から都市出現期までのプロセス： 有村 誠（東海大学・文学部） 中東地域の古代および中世における農地の塩類化とその教訓： 藤巻晴行（鳥取大学乾燥地研究センター） アラル海流域における人間活動の変遷と塩類化 北村義信（鳥取大学乾燥地研究センター）
休憩：16:50～17:00	
コメント・総合討論： 17:00～18:00	コメント・総合討論（司会：山中典和） コメンテーター 縄田浩志（秋田大学） 山中典和（鳥取大学乾燥地研究センター）

懇親会：2015年5月28日（土）

懇親会：18:30～ 鳥取大学乾燥地研究センター アリドラボ（予定）

口頭発表：2016年5月29日（日）午前

NO.	時刻	題 目（○は発表者）
O09	09:00～09:15	乾燥地植林前後の水移動量評価予測に及ぼす降雨パターンの影響 ○三谷一太，高橋優樹，横佩おさむ，菅沼秀樹，小島紀徳 成蹊大学理工学部
O10	09:15～09:30	西豪州乾燥地植林法の選定のための実証植林サイト内を想定した局所水移動解析 ○高橋優樹，三谷一太，菅沼秀樹，小島紀徳 成蹊大学理工学部
O11	09:30～09:45	Na/Ca長石からの土壌生成に及ぼす腐植物質による誘導作用 ○東 晃司 ¹ ，武田 弘 ² ，矢沢勇樹 ¹ ¹ 千葉工業大学大学院， ² 東京大学理学系研究科
O12	09:45～10:00	微細気泡による塩類集積土壌の改良に関する基礎的研究 ○矢沢勇樹 ¹ ，山口陽平 ¹ ，大石真弓 ¹ ，江口俊彦 ² ¹ 千葉工業大学工学部， ² ㈱オーラテック

口頭発表：2016年5月29日（日）午前

NO.	時刻	題 目（○は発表者）
O13	10:10～10:25	新疆ウイグル自治区における施設栽培立地の変化 ○古澤 文，渡邊三津子 片倉もとこ記念沙漠文化財団／奈良女子大学共生科学研究センター

014	10:25 ~ 10:40	カザフスタン南部における青果物流通と地域農業の現代の変容 ○渡邊三津子・古澤 文 奈良女子大学共生科学研究センター
015	10:40 ~ 10:55	インド北西部における伝統的農具の記録保存とその活用 ○遠藤 仁 秋田大学国際資源学部（人間文化研究機構 現代中東地域研究拠点研究員）
016	10:55 ~ 11:10	沙漠の篤農家と地域社会 ○縄田浩志 ¹ 、石山 俊 ² ¹ 秋田大学国際資源学部、 ² 総合地球環境学研究所

学会賞受賞者記念講演：2016年5月29日（日）午前

11:15 ~ 11:45	日本沙漠学会 学会賞 吉川 賢 会員 題名：乾燥地における造林技術と生理生態学的研究に関する一連の業績
---------------	--

エクスカージョン：2016年5月29日（日）午後（天候等により変更の可能性があります）

エクスカージョン：12:50 ~	鳥取大学乾燥地研究センター発、鳥取空港・鳥取駅解散
12:50 ~ 13:50	乾燥地研究センター施設見学&らっきょう掘り体験
13:50 ~ 14:50	鳥取砂丘およびらっきょう土地改良区の視察
14:50 ~ 17:30	山陰海岸ジオパークツアー（遊覧船、山陰海岸学習館）

ポスターセッション：2016年5月28日（土）終日（コアタイム：12:30 ~ 13:30）～5月29日（日）午前

NO.	題 目（○は発表者）
P-01	日本-アフリカ大学連携ネットワーク：大学間ネットワーク構築によるアフリカ諸国との組織的学術交流推進に向けた取組 ○森尾貴広 筑波大学国際室
P-02	フランスによるチャドの征服と植民地化 ○石山 俊 総合地球環境学研究所
P-03	ヨルダン国境シリア沙漠における人々の生存-シリア人難民の移動経路から-（仮） ○佐藤麻理絵 日本学術振興会（PD）
P-04	農業政策による農地開発効果の評価-モーリタニア国・セネガル川河畔での社会調査- ○丸山優樹 筑波大学生命環境科学研究科生物資源科学専攻
P-05	モンゴル国における馬乳酒および馬乳の地域差 ○河合隆行 ¹ 、土屋竜太 ² 、バトユン・ツェレンプレフ ³ 、篠田雅人 ⁴ 、森永由紀 ² ¹ 新潟大、 ² 明治大、 ³ 鳥取大、 ⁴ 名古屋大
P-06	スーダンにおけるメスキートの種子発芽の季節依存性 ○依田清胤 ¹ 、辻 涉 ² 、齊藤忠臣 ² 、縄田浩志 ³ 、安田 裕 ⁴ ¹ 石巻専修大・理工、 ² 鳥取大・農、 ³ 秋田大・国際資源、 ⁴ 鳥取大・乾地研
P-07	津波塩害農地の除塩および土壌修復技術に関する研究（その2） 栽培野菜の成分と土壌の理化学性 ○杉本英夫 ¹ 、南條正巳 ² 、菅野均志 ² ¹ 株式会社大林組技術本部技術研究所環境技術研究部、 ² 国立大学法人東北大学大学院農学研究科
P-08	中国・洛恵渠灌区における作物転換に伴う水需給変化 ○清水克之 ¹ 、石川 敬 ² 、吉岡有美 ¹ 、北村義信 ³ ¹ 鳥取大学農学部、 ² 鳥取大学農学研究科、 ³ 鳥取大学乾燥地研究センター
P-09	灌漑水量の違いがダイズの根系分布と収量に及ぼす影響 ○キルイ サミエル キプケモイ、渡邊文雄、鈴木伸治、ヌリア イリハム 東京農業大学大学院農学研究科農業工学専攻
P-10	西豪州荒漠地での大規模植林地帯の土壌化学性及び炭素固定における継続的評価 酒井裕司 ¹ 、○赤城亮太 ² 、野澤 雅 ³ 、庄司博紀 ³ 、小川 顕 ³ 、平岡由圭 ³ 、菅沼秀樹 ⁴ 、加藤 茂 ⁴ 、小島紀徳 ⁴ ¹ 工学院大学先進工学部、 ² 工学院大学大学院化学応用学専攻、 ³ 工学院大学工学部、 ⁴ 成蹊大学理工学部
P-11	ミャンマー中央乾燥帯における降雨変動 天水農業に対する影響 ○安田 裕 ¹ 、河合隆行 ² 、Aung Din ³ 、神田道男 ⁴ 、藤村達夫 ⁴ 、平田経倫 ⁴ ¹ 鳥取大学、 ² 新潟大、 ³ Nature Lovers International、 ⁴ MJET

本誌同封のはがきを投函してください

学術大会に参加される方は、本誌同封のはがきが参加申込になります。事前登録扱いになり、参加費が割引になりますので忘れずに投函してください。

正会員および名誉会員の方は、お手数をおかけいたしますが、出席、欠席にかかわらず必ずご回答ください。ご欠席の場合でも、総会成立のためには委任状が必要となりますので、委任状にご記入のうえ、投函してください。

締め切り：2016年5月16日（月）必着

メールでの提出も可能です。jaals2016t@gmail.com（大会事務局宛）までお送りください。ご理解とご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

学会記事

日本沙漠学会第123回理事会 議事録

日時：2016年1月8日（金）15:00～17:00

場所：東京農業大学世田谷キャンパス 生産環境工学科バイオロボティクス研究室木工室

出席：小島紀徳（会長）、吉川 賢、渡邊文雄（以上、副会長）、川端良子、白石雅美、鈴木伸治、田島 淳、田中 徹、豊田裕道、森尾貴広、矢沢勇樹（以上、理事）、高橋新平、中村 徹（以上、監事）、島田沢彦（総務委員）、佐藤周一（編集委員）、的場泰信（以上、オブザーバー）

委任状：酒井裕司、吉崎真司（以上、理事）

I. 審議事項

1. 第122回理事会議事録確認

2. おあしす原稿確認

おあしす原稿を基に、2016年第27回学術大会、および秋季シンポジウムについての確認がなされた。とくに学術大会については、ベストポスター賞の審査が行われる旨を会員にアナウンスすることが確認された。

3. 今後の学術大会・秋季シンポジウムの開催地について

- ・2016年学術大会：鳥取大学
- ・2016年秋季シンポジウム：名古屋学院大学
- ・2017年学術大会：千葉工業大学
- ・2017年秋季シンポジウム：筑波大学
- ・平成2018年の学術大会について石巻専修大学に、秋季シンポジウムについて鹿児島大学に働きかけ

をする。

4. Desert Technology (DT) および International Conference on Arid Land (ICAL) について

DT XII（エジプト）における International Committee での討議を受け、DTとICALの運営に関して今後議論を重ねていく。

II. 報告事項

1. 総務委員会

会員の動静について報告があった。

2. 編集委員会

・沙漠研究をJ-Stageに登録したことに伴う投稿規定の改定について、編集委員会でまとめられた改定案を確認した。

・沙漠研究の一部を構成するおあしすの編集が総務委員会によってなされている現状を鑑み、総務担当理事を編集委員に組み入れることとした。

・5月27日に鳥取にて拡大編集委員会を開催する予定（編集委員以外の参加も席の問題がない限り可。至急以下に参加希望を連絡のこと morio.takahiro.fu@u.tsukuba.ac.jp）。

3. 学会業務等の外部委託に関するWG

・学会業務等の外部委託について、業者の選定について検討を行う。

・沙漠研究の在り方について、全会員を対象にアンケートを実施する予定。

・4月15日の評議員会及び5月28日の総会にて説明する予定。

Ⅲ. その他

1. 2016年度評議員会・総会について

資料の作成に関し、会計報告と分科会の活動報告について依頼がなされた。

2. 今後の理事会日程

・次回第124回理事会・第29回評議員会は、2016年4月15日（金）、東京農大で開催することとし

た。13:00～15:00理事会、15:00～17:00評議員会。

・第125回理事会は5月28日に鳥取で開催、第126回理事会は7月15日東京農大で開催とする。第127回理事会は、秋季シンポジウム（10月15日または22日午後予定）に併せて同日午前にも名古屋で開催を検討中。第128回理事会は2017年1月7日開催予定。

* * * * * 会 員 動 向 * * * * *

●新入会員

正会員（2015年度入会）

柚 浩二（ID:1081, 神戸平和研究所）

学生会員（2015年度入会）

河合 賢人（ID:1082, 金沢大学大学院自然科学研究科）

マロー A. ファドモ

（ID:1083, 東京農業大学大学院農学研究科農学工学専攻）

祖父江侑紀（ID:1084, 酪農学園大学大学院）

キプケモイ サミエル

（ID:1085, 東京農業大学大学院農学研究科農学工学専攻）

●退会会員

学生会員

広兼 達也, 五関 大海

~~~~~ 賛助会員・団体会員名簿 ~~~~~

アースアンドヒューマンコーポレーション	194-0041	町田市玉川学園 8-3-23	Tel : 042-710-7661
株式会社ウイジン	158-0097	世田谷区用賀 2-12-14	Tel : 03-3700-0531
NTC インターナショナル株式会社	164-8721	東京都中野区本町 1-32-2	Tel : 03-5354-3621
株式会社大林組技術研究所	204-8558	清瀬市下清戸 4-640	Tel : 0424-95-1060